

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

人間には道具が必要である。

(1) **イ**

、人間が本能的に持つ能力は極めて弱く、その

ままでは生きていけないからだ。道具を使って人間は自然と関係しあう。例えば、棒という道具を使って、木の実を取るといようなことが可能になる。

(2) **オ**

、釣り竿とい

う道具を使うことで人間は魚と関わりあうこともできる。このように考えてみると、道具は人間と世界をつなぐものだとも言えるだろう。

(3) **ア**

、人間にとって一番大切な道

具はいったい何だろうか。私はそれを言葉であると考える。もし言葉がなかったら、(4) **エ** 木の実や魚が目に映ったとしても、それを正確に何であるか理解できないだろう。言葉こそ人間にとって、欠かすことのできない道具である。

(5) **ウ**

、今の日本

において、国語教育が軽んじられていることを、私は残念に思っている。

ア ところで

イ というのも

ウ にもかかわらず

エ たとえ

オ また

(1) **イ** (理由の説明)

(2) **オ** (同じような内容を並べる)

(3) **ア** (話題を変える)

(4) **エ** (〜としても、とセット)

(5) **ウ** (期待と反する内容)

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

魚で一番おいしい部分は魚が生存中に最もよく使った体の部分です。

(6) **コ**

、ヒレの

付根の部分などです。そして、これは人間にも当てはまることです。苦勞をしていない人よりも、苦勞をしている人の方が、人間味が深いのです。こう考えれば苦勞も悪いものではありません。

(7) **ク**

、世の中には苦勞をしすぎて、疲れ切って、不幸になってしまいう人もいます。

(8) **ケ**

そのようなことになるのでしょうか。そういう人は苦勞自体が目的であると勘違

いしているから不幸になるのです。苦勞自体を素晴らしいと思ってしまうと苦勞から逃れることはできません。確かに人生には苦勞がたくさんあります。でも、苦勞をするのは、それに対処できる力や知恵を養うためなのです。ですから、あなたが苦勞に直面した時は、それ



に打ち勝つ力を養うこと、  
 頑張ってくださいます。  
 (9) **カ**、それを取り除く知恵をしぼることに、一生懸命にな  
 (10) **キ** あなたは大変に人間味の深い人になることができます。

カ あるいは キ そうすれば ク しかし ケ なぜ コ 例えば

(6) コ (例をあげる) (7) ク (逆方向の内容) (8) ケ (疑問の投げかけ)

(9) カ (二つのどちらか) (10) キ (これまで述べられたことができると、次に期待されること。)